

そり遊び

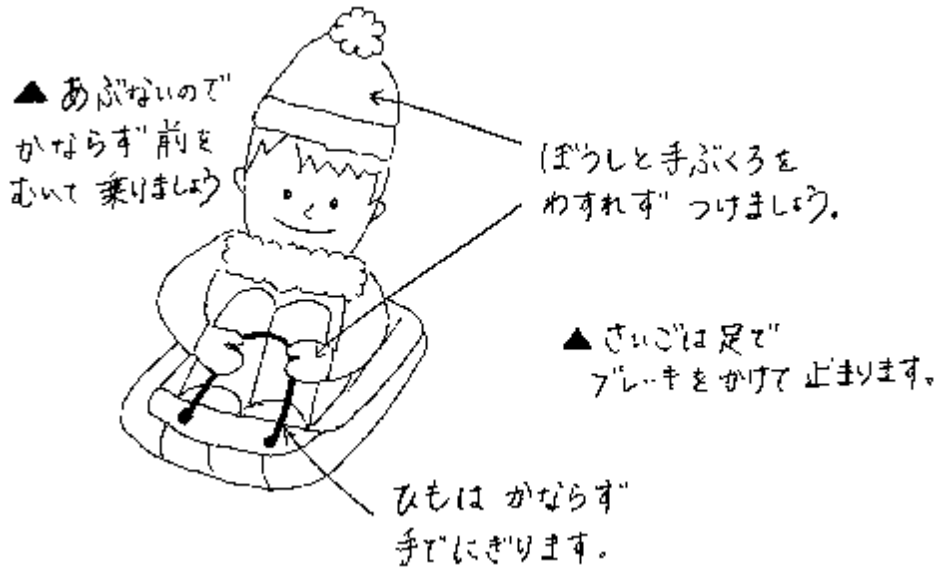
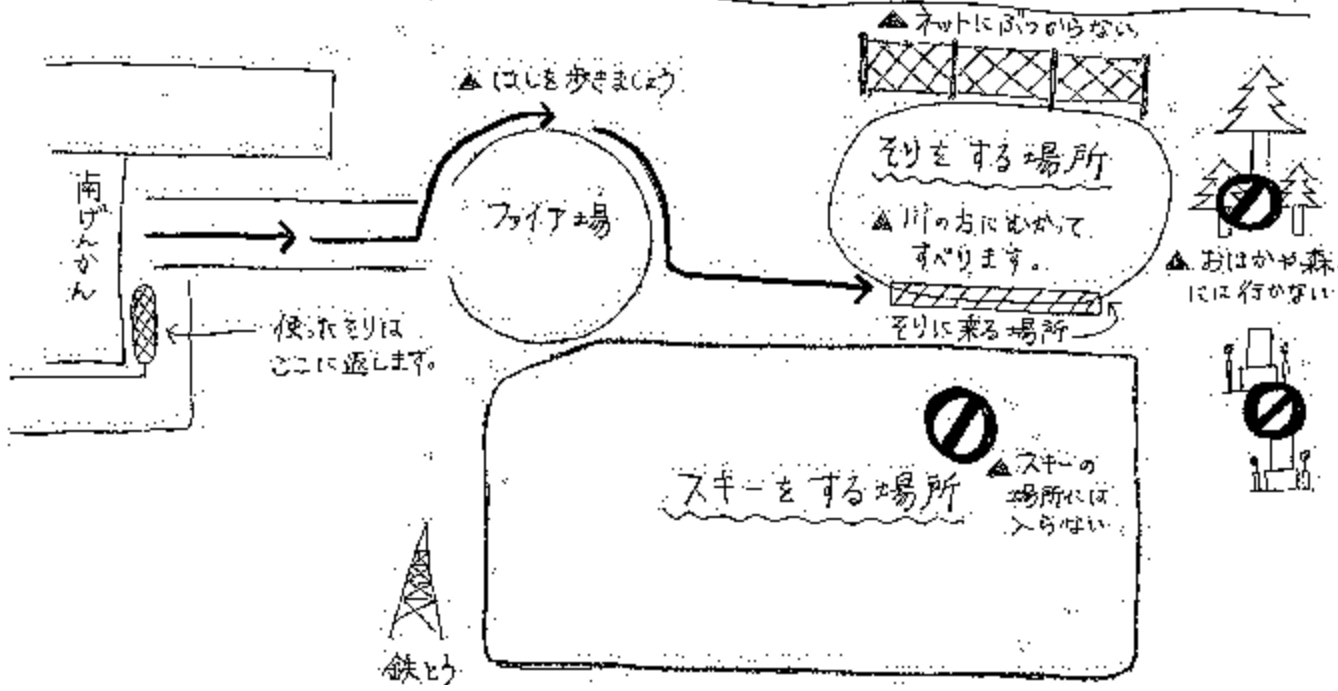


活動場所	自然の家周辺	自然の家にあるもの	そり
所要時間	制限なし	利用者で用意するもの	特になし
人数	50人程度	活動時の服装	帽子、スキー用手袋、スキーウエア

一人用のそりに乗って葛川の冬の自然を楽しめるプログラムです。そりは乗ったら、自然とすべることができます。簡単に雪の感触や冬の風を感じることができます。

そり遊び

あと川



とくに大切なこと

- ① そりをするときは安全のため、ぼうしと手ぶくろをつけます。
- ② すべるときはひもを持って、安全にすべりましょ。
- ③ 前に人がいないか、かくにんしてからスタートましょ。
- ④ 登るときは、はしを歩きましょ。

1. 学習内容

めざすもの（評価）	関連教科	学び（単元）
・雪上でそりに乗り、バランスをとる動きや体を移動する動きをすることができる。	体育	「体づくり運動」

2. ポイント

ア) 活動前

- ・手袋はスキー用などのできるだけ防水性のあるものを準備する。
- ・手袋と帽子は必ず着用させること。
- ・そりは人数によっては1人1台貸し出すことができない場合がある。

イ) 活動中

- ・そりはそり用のゲレンデを通行する。スキー用ゲレンデには入らないように指導すること。
- ・そりの前に付いている紐は滑る際、手で持つようにする（そりに絡まる危険がある）。
- ・乗り方の指導は必ず行うこと。後ろ向きや立って乗るなどの危険な乗り方は禁止。
- ・先に滑った人にぶつからないよう間隔をあけて滑り始めるよう指導すること。
- ・坂の下にあるネットに突っ込まないよう、終盤は足でブレーキをかけるよう指導すること。
- ・坂を登る際は端を通るよう指導すること。

ウ) 活動後

- ・使用したそりは南玄関で回収。また破損した場合は申し出ること。
- ・濡れたスキーウェアや手袋、帽子などは乾燥室で乾かすことができる。水が滴るようであれば、乾燥予防も兼ねて部屋干しも可能（ハンガーは乾燥室に約100本在庫有り）。

3. 安全対策について

--